



第三地区 市政まちかどトーク開催

第三地区町会連合会 会長 田中 伸季



菅谷市長による説明

十月三十日に菅谷市長など市の理事者と、地区の課題について懇談する市政まちかどトークが開催されました。地区住民の皆さんには高い関心を持っていただき約八十名の参加者がありました。今回のまちかどトークでは、懇談項目を現在の地区の重要課題のカタクラ再開発にしばり、再開発を通じた地区の活性化、生活環境の維持・向上を目的に、地区としての提言をいたしました。



カタクラ再開発についての懇談

懇談では、カタクラ再開発に関する今日までの地区の取り組みや、イオンモールとの協議内容、地区の交通環境などを紹介し、市側に次の三点について質問を行いました。

- ① 再開発に係る地域生活環境の維持・周辺も含めた地域活性化
- ② 歩行者や自転車の安全確保、交通協議での渋滞対策の取組み
- ③ 地区防災への協力

また、フリートークでは、三名から発言がありました。

- ① 旧幸町保育園跡地について、高齢者が気軽に利用できるような施設として跡利用ができないか
- ② 小さな町会の町内公民館の施設・整備の充実、補助等について



説明をきく地区の皆さん

- ③ 製糸業及び松本市の近代産業発展の歴史を後世に伝えるために行政として取り組んでほしいことについて

懇談項目、フリートークとそれぞれ市長や担当部長から説明・回答をいただきました。

最後に菅谷市長より赤ちゃんからお年寄りまで、明るく元気に過ごせるまちづくり、これから迎える「超少子高齢型人口減少時代に対応するまちづくりにおける健康寿命遠心都市・松本の創造を目指して」と題してお話をいただきました。

【参加者の感想】

- 有意義な時間だった。もっと早くにこんな機会が欲しかった。
- カタクラ再開発などについて、現状と課題を知ることができた。
- もう少し自由な話し合いがほしかった。
- 筋書きのできたセレモニー感はあるが、テーマは的確で参考になった。
- イオンモールに対して災害時の協力を強力に依頼してほしい。
- 行政の説明と方針が見えない。…など

カタクラ再開発について、歴史や景観に配慮した「松本らしさ」、「適正規模」「まちなかの「回遊性」の三点を基本に協議していること、また、第三地区としての要望があれば具体的に出示してほしいという回答がありました。今後とも地区の皆さんの声を伺いながら、必要な意見・要望は開発事業者・行政の双方に伝え、よりよい地区づくりのための話し合いを行っていきたいと思います。

詳しい懇談内容については第三地区まちづくり協議会発行のお便りでお知らせいたします。

源池小学校で歴史授業

自分たちの住むまちの歴史を学ぶ

十月二十八日に源池小学校六年二組で第三地区の歴史を学ぶ授業が行われました。これは八月に第三地区まちづくりを考える会で主催した「まち探検隊」に興味を持たれた源池小学校の先生から、総合学習の中でカタクラモールの再開発によりまちが変わることを学び始めた子ども達にもっと詳しくまちの歴史を知る機会を与えたいとの思いから公民館に依頼があり実現したものです。当日は、第三地区まちづくり講座でお世話になっている倉澤聡さんに講師をお願いし、古い地図から現代の地図までを比べながら、江戸時代の城下町の様子や製糸業の発展とともに松本のま

ちが変わっていく様子を写真



源池小学校 生徒の感想

- ◆今と昔の松本の地図を見ると、色々なものが違ったり、そのまま残っていたりして面白かった。
- ◆蚕を実際に触ってみて「ここから糸を出すんだ」など色々なことが知れた。
- ◆片倉が全国的に有名だったことや昭和と平成の町の違いなど、五十年後や百年後の松本にこの歴史を残してほしい。

(降旗 都子)

真を交えながら楽しく学習しました。実際に生きた蚕も持っていたので、蚕をはじめて間近で見た子どもも多く、怖々と触ってみたい、大変興味を持ってくれました。古い地図にはたくさんあった桑畑のマークが全くなくなっていました。昔は路面電車が走っていたことなど子供たちには、地区の古い歴史を知る良い機会となったと思います。

第三地区 文化・芸術の秋

11/8,9

第15回第三地区作品展

9/27,28

第三地区 福祉ひろばまつり



湧き水

金華橋から見上げる今日の常念はすこぶる機嫌がいい。春、薄川両岸のごつごつした古木の桜は美しい。気持ちをやわらげてくれる。五月中旬頃は、槍に沈む夕日を求めて多くのカメラマンの人気スポットになる。しかし、今は流れにそって、目のとどく限りニセアカシアが背伸びしている。兩岸の斜面にはクズがはびこる。中にはアレチウリも見える。去年まで草刈りをシルバー人材センターがやっていたけれど今年はなく、県町南町会で大きく伸びた草を相手にしたが鎌を片手に集まった主要メンバーは高齢者が多く、若い皆さんに負担がかかった。

芝生の河川敷、見晴橋と小松橋の下は特に人気が高く焼肉の煙を上げている。水着姿を目にする事はなかったが、テント張りパーティが多かった。

常念とにらめっこしながら歩く、右側に大きな柿の木が二本、それは沢山の実をつけていばつて立っている。高い枝は葉の色を変えて落ちていくが今日も収穫されていない。常念はさみしいねえと。

(武藤 康一)